

碩心

題字は松井岳洋筆

No.404

平成22年11月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵
編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723

URL <http://sekishin.holy.jp>

退任のご挨拶

前会長 加藤 岳 洵



平成14年6月より四期8年間、任期をなんとか全うできましたのは、菲才な私を助けて下さった役員の方々と、ご支援ご協力を賜りました会員の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

会長就任挨拶

詩吟を楽しく

新会長 内山 岳 青



この度、碩心会会長に就任いたしました。多くの先輩方が築きあげ今日に引きつがれた碩心会七十余年の歴史に思いを馳せるとき改めて身の引きしまる思いがいたします。

任期中は、日々問題解決であること”を

モットーに運営し、種々改革を進めてまいりましたが、これも偏に皆様のご理解とご協力の賜と重ねて感謝申し上げます。

今、総本部では会員増強施策と俟って、公益社団法人認可に備え組織の拡大を図っていますが、吟界全体が年々歳々詩吟人口の減少する中、特に若年層の増強が急務となっている現状です。

これからは、豊富な経験と高い見識をもつ

今回スタートいたしました新役員を中心に全会員が力を合わせ碩心会の伝統を守ると共に、時代に即した柔軟な考え方で会を運営し、バトンを次世代につないで行かなければならないと思います。

そのためには常に吟技の向上と会員数の増強に努めることが何より肝要なことと認識しております。

今後具体的な目標・方策を立て、その推進のため全力をつくす所存であります。

行事予定

碩心会初吟会

日時・1月16日(日) 午前9時30分開場

場所・葉山町福祉文化会館

た新会長内山岳青先生の下、意欲溢れる新役員の方々による斬新なる運営がなされることを大いに期待いたします。今後は不肖私も顧問の一員として共に精進してまいる所存です。創始者、松井岳洋先生の志である”詩吟の価値は、上達する事のみでなく精神の修練に重点を置かねばならない”この思いを会員の皆様が肝に銘じ、力を合わせて碩心会の発展に努められることを願ってご挨拶いたします。

詩吟は一人でも、仲間とも手軽にでき、身体と頭脳と精神の若さを保つ素晴らしい趣味です。あまり難しく考えるのではなく会員が気楽に楽しみ、その良さを一人でも多くの人に知ってもらうことが碩心会の発展にもつながると思います。

吟界を取り巻く環境は厳しいものがありますが、経験豊かな先輩方の側面からの応援と会員の皆様の全面的なご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

副会長と逗子地区長を拝命して

副会長(兼)逗子地区長 磯村 岳 朋

副会長・逗子地区長という大役を仰せ付かり戸惑っています。逗子地区長としては、早速「吟詠と詩舞の集い」を開催する大仕事が待っていました。とはいえ、前逗子地区長森岳観さん、副地区長の青木岳紅さん、佐藤岳田(引き続き)さん等が、6ヶ月も前から会場を取り、計画し出来上がったものを、引き継ぐだけで、本当に申し訳なく思っています。新副地区長 町田紀岳さんを交え、大会を無事に仕上げたいという気持ちで一杯です。

副会長と青少年部長を拝命して

副会長(兼)青少年部長 高橋 之 岳

標語大好き人間の私に、びったりな言葉がありました。「大きな信用は、小さな約束と実行の積み重ねである」副会長、青少年部長としての任務の大きさ、重さに負けず、二人の副部長さんと共に、コツコツと実績を積んでいきたいと思えます。第一に会員のお孫さんへの声掛けをお願いします。第二、地域の小、中学校への訪問の継続。第三、大事な三人の部員さん、家族の方と共に楽しい青少年部の活動をしたい。来年の大会の準備も始まりました。激励の言葉を三人にお願いします。

昇位段位認許

(平成22年10月1日付)

(少年 1名)	210 松浦みづき	少1級
(初段 3名)	235 水谷伊織	236 高山和子
(二段 6名)	224 野村君子	227 畠山武雄
(初伝 6名)	231 久保田博是	232 古敷谷時江
(三段 2名)	211 永田静泉	216 村田謙泉
(四段 5名)	202 森 祐泉	203 森 晶泉
(中伝 8名)	206 山下友泉	207 高橋禮泉
(五段 4名)	181 柳原伶山	183 佐々木絵山
(六段 4名)	176 梅澤彰山	177 歌代宗山
	178 品川榮山	
	191 梅田萌山	
	194 畠中潤山	
	196 矢嶋敏山	
	199 新田香山	
	190 土屋櫻山	
	193 新田香山	
	199 栗原俊山	
	185 一戸清山	
	184 植草真山	
	243 井上茗山	
	230 小川美恵子	
	234 目黒里佳	
	218 宮沢英泉	
	225 岩崎健泉	
	223 村上遥泉	
	228 岩沢英泉	
	239 井戸田喜美子	

秋季審査会に想う

滝の坂支部 梅澤 彰 山

早いもので、今回六段の審査を受けた。

今までは審査のための練習に終始し、課題吟の意味や背景などは二の次で、詩文や節調の丸暗記に重点を置き、審査さえ終ればの心境であった。中伝、五段の審査では、詩文の一部を忘れ大変恥ずかしい思いをした。

その反省から詩文の内容や背景を十分に理解し、自分なりにどう表現するかを考えるようになった。日頃から「詩文の素読」の大切さを師匠の行谷先生から指導を受けていたので、詩吟の原点と言うべき素読を徹底的に声を出して行なった。

まだまだ多くの課題が山積しているが、平常心で審査を無事に終えることができ内心ほっとしている。審査会を通して吟道精神の真髓に少しは触れることができたと思っている。これも関係各位、詩吟仲間の皆様のご指導とご協力の賜物と心から感謝している。

(奥伝 3名)

158 鮎澤紅風 159 今井重風 160 大塚洋風

(七段 3名)

142 角田有風 143 根岸和風 144 松木之風

(八段 2名)

133 今井俊風 237 小林芳風

新総伝祝賀会

悠吟支部 小野 岳 祥

感謝！ 総伝になった御祝の席で先生方に頂戴した色紙の中の言葉です。不勉強な私を導いて下さった先生方、いつも楽しい教室の仲間達、総伝の許証を頂けたのは皆様のおかげです。有難う御座居ます。

一色支部 角 田 岳 久

新総伝の祝賀会を催していただき、また先生方の寄せ書き、ありがとうございます。現在加藤岳洵先生に熱心なご指導を頂いております。先生始め吟友の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしく願います。

一色支部 守 谷 岳 信

新総伝の祝賀会をして頂き有難うございました。長い間加藤先生に御指導を頂き、また教室の皆様のお陰と感謝申し上げます。寄せ書きに頂いた諸先生のお言葉を大切に健康に気をつけ、詩の心がもつと理解できるようにこれからも勉強してまいります。

真澄支部 小 金 岳 智

お琴、お茶、お花、三味線他にも色々稽古を始めましたが、つづいたのは詩吟だけです。村田先生を始め諸先生方、お教室の友、碩心会の友のお力添えで総伝位を頂けたものと心からお礼を申し上げます。

滝の坂支部 西山 岳 隆

私の吟歴というより吟力からしますと誠に恐れ多い雅号を頂き恥ずかしい限りであります。上村、佐久間、両先生の熱心な御指導に不真面目な生徒であります。これを機により精進せねばと、強く感じるところです。



平成22年 碩心会 新総伝者を祝う会
於：22.9.12 葉山マリナー内 アリゼ

篁風支部 中山 岳 香

この度総伝を頂き大変光榮に存じます。夫と共に故松井岳篁先生の御指導を頂き先生の詩吟・韻読の素晴らしさに感動して十段まで終了することが出来ました。

現在は高見湘岳先生の御指導で心身共に健康で楽しく精進したく思っております。

静朗支部 森 岳 暎

先日は新総伝の御祝をして頂き有難うございました。さっそく教室の皆さんと故松井岳篁先生の墓前に報告に行つて参りました。先生の始めての生徒が二人総伝を頂いたので喜んでお顔が目に浮かびました。今後も楽しい教室で頑張つて行きたいと思ひます。

25周年鎌倉吟舞連大会

10月17日(日)創立25周年記念鎌倉市詩吟詩舞連盟大会が多くの歴史的遺産やその精神が今に残る古都鎌倉の芸術館小ホールで来賓多数ご臨席のもと盛大に挙行されました。

午前の会員吟詠に続く式典では、鎌倉副市長から詩吟は武士道の一つとして鎌倉時代の武士等に親しまれてきたと言われ、日本伝統文化の一つである詩吟を鎌倉の地で楽しみ次世代に伝承してもらいたい旨がありました。

午後から書華道吟が、次いで構成吟「松口月城」と題して吟と舞が披露され、特に「曾我兄弟」ではドライアイスをたいて表現した風雨の中、可憐な二児の仇討姿を叙情豊かな吟と舞で繰り広げられる等がありました。

会員詩舞、招待舞、招待吟詠と進むに従い益々熱を帯び盛会裏に終了しました。高見

支部紹介

一色会館と共に歴史を積み重ねて

一色支部 小菅 岳 倅

特殊建築物（祭礼の余興の時に部屋が舞台になる）である一色会館での教室は四十四年目になりました。加藤岳洵先生の指導のもと、会は、諸連絡、口の体操、吟道精神・吟道訓の朗詠と進んでいきます。大会や行事によって勉強する吟は異なりますが、必ず独吟や連吟を通じて細かい指導があります。緊張感がありますが、高段者が多い当教室としてはとても良い刺激になっています。

毎年、一色会館を会場にして夏祭りが行われます。その一つの行事である森山神社内での「献詠の儀」には会員が参加して和歌を朗詠しています。とても意義深く本支部の特色となっています。これからも、環境に恵まれた会場で、吟の研鑽と心のふれあいを大切に、生き生きと会館と共に歴史を積み重ねたいものです。



「献詠の儀」が行われる森山神社にて

皆伝会

吟の集いに参加して

渚支部 野元 正 岳

去る8月22日、夏季吟道講座受講時に壇上で会長より皆伝の許証を頂き、その重みをひしひしと感じております。

教場で先生から10月10日に皆伝会がある旨言われ、吟題も決まり教室の他、小坪から鎌倉のハイキングコースの見晴らしの良い場所で仕上げの練習をしました。

当日は一番の出吟で緊張しましたが、どうか吟じられたと思います。

母も生前郷里で詩吟をしており、私が帰省した時、二人で詩吟をする事を大変喜んでいました。

今回大先輩や先生方の吟をじっくり聞くことができ、母の姿と重ねながら聞かせていただきました。

まだまだ未熟で練習が足りませんが、どんな会場でも自分の吟ができるよう度胸をつけて皆伝の名を汚さぬよう精進したいと思います。



会員のうごき

*入会

253 高橋 百合子 (渚)
逗子市桜山9-4-7
☎ 046-871-8194

254 吉田 志穂 (紫陽花)
葉山町堀内1218-3
☎ 046-875-0653 紹介者 池田清岳

*退会

92 時田千岳(悠吟) 121 北原湖岳(東伏見)死亡
152 志田廣風(滝の坂) 155 池田忠風(滝の坂)
162 中村欣山(紫陽花)

*支部長変更(相洋支部)

15 加藤岳美 → 41 西岡岳清

*支部長変更(一色支部)

42 小菅岳倅 → 59 角田岳久

*指導者変更(吟秀支部)

16 加藤岳芳 → 52 市川岳穂

編集後記

10月より新体制が発足し、去る10月16日には新役員による全体会議が行われ、行事内容の確認及び改善策等熱心に話し合いが行われました。

より良い「碩心会」を目指してまいります。会員の皆様方の御協力をよろしくお願い致します。

広報部

22年11月1日現在	会員数
葉山地区	121名
逗子・大船地区	97名
合計	218名